# セキュリティ設定を以前の状態に戻す方法

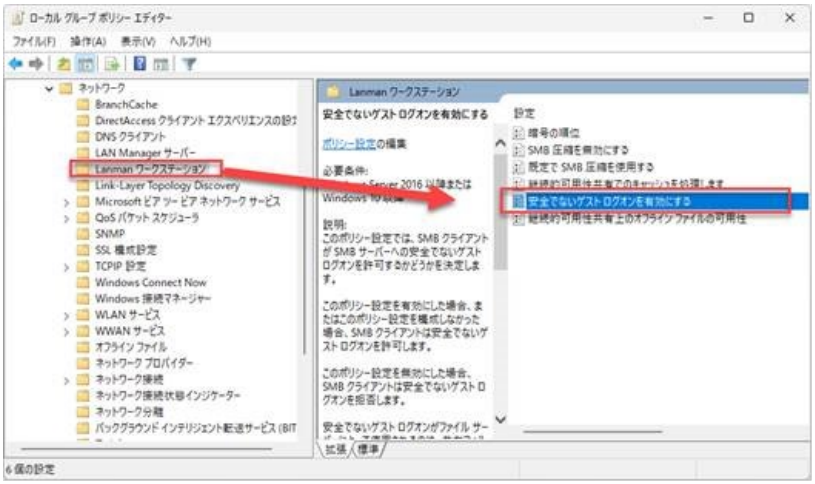
問題が発生しているPCで作業を行います。
※再起動が必要となるため、編集中のファイルは事前に保存してアプリケーションを終了しておきます。

①キーボードの[Windows]キーと[R]キーを同時に押します。

②ファイル名を指定して実行]画面より、[gpedit.msc]と入力し[OK]をクリックします。

③[ローカル グループポリシー エディター]画面、左ペインから以下の場所まで展開します。
[コンピューターの構成]>[管理用テンプレート]>[ネットワーク]>[Lanmanワークステーション]

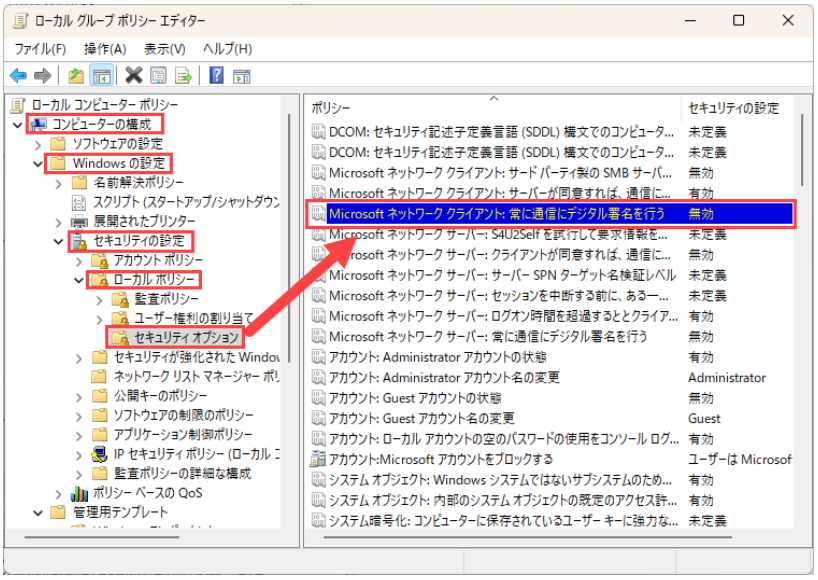
④右ペインから[安全でないゲスト ログオンを有効にする]をダブルクリックして開きます。



⑤ [有効]をチェックし、[OK]をクリックします。

⑥続けて2か所目の設定変更を行います。左ペインから以下の場所まで展開します。
[コンピューターの構成]＞[Windowsの設定]＞[セキュリティの設定]＞[ローカルポリシー]＞[セキュリティオプション]

⑦右ペインから[Microsoft ネットワーク クライアント：常に通信にデジタル署名を行う]をダブルクリックして開きます。



⑧ [無効]をチェックし、[OK]をクリックします。
※すでに[無効]になっている場合は変更の必要はありません。[キャンセル]をクリックします。

⑨ PCの再起動を行い、共有に接続可能になっているか確認します。

⑩接続が出来ない場合、サーバー側で従来の接続情報が残っている可能性があります。時間をおいて再度接続を試すか、サーバーの再起動の操作をご検討ください。